

令和8年7月20日

編集・発行

宮川地区コミュニティ運営協議会
宮川地区コミュニティセンター
TEL.71-1602 FAX.71-1631
miyagawa.bo@city.chino.lg.jp

去る6月26日（金）に、茅野市中央公民館におきまして令和8年度宮川地区コミュニティ運営協議会幹事会（全体会）を開催いたしました。

幹事会（全体会）では、令和7年度の事業報告と決算報告、役員改選、令和8年度の事業計画（案）と予算（案）が審議され、いずれも承認されました。また、各部長からは、部会や所属団体の活動報告がされました。

宮川地区コミュニティ運営協議会は、「地域住民が健康で明るく住み良い地域づくりのための活動を推進し、地区内における問題を連携して解決する」ために組織化されています。具体的な行動指針として、令和9年度まで延長した「すまいるプラン」（第三次宮川地区地域福祉行動計画）に、3つの目標として「あいさつがいきかうまち」「つながって安心のまち」「災害に強いまち」が掲げられています。この目標を実現するため、それぞれの団体がそれぞれの活動の中で「すまいるプラン」に掲げる内容を意識して取り組んでいくことが確認されました。

宮川地区の皆様も、個々の生活を送る中で3つの目標を少しでも意識していただくことにより、健康で明るく住み良い地域づくりができるのではと思います。今年度も、宮川地区コミュニティ運営協議会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



宮川地区こども館「きてみてどん」からのお知らせ

日頃から、宮川地区こども館をご利用いただきありがとうございます。宮川地区こども館は、平日の午前9時30分から正午までと午後1時から5時まで開館していますが、少子化や未満児保育の増加などで図書館分室を併設していても利用者が減少している状況です。特に、保育園や小中学校が授業中の午前中の利用者はごくわずかになっています。

そこで、こども館の運営を検討する運営委員会を開催して、開館時間について協議を行いました。

その結果、次のように開館時間の見直しを試行することになりましたので地域の皆様にお知らせいたします。

(1) 費用対効果と閉館の影響を最小限にすることを考慮し、毎週、月曜日と火曜日の午前中を閉館いたします。

午後は今までどおり開館いたします。

(2) ただし、小中学校の夏休み・冬休み・春休みは、祝日、お盆、年末年始を除き月曜日～金曜日の午前中を従来通り開館いたします。

(3) 令和8年10月から半年間試行して利用者様のご意見や問題の有無を検証し、令和9年4月以降については今年度内に改めて検討いたします。

開館の有無は茅野市ホームページ「宮川地区こども館」からもご確認いただけます。

地域の皆様、ぜひ一度、宮川地区こども館「きてみてどん」に足をお運びいただきたいと思います。

お待ちしております。

住所 茅野市宮川4552 番地2 茅野市中央公民館内

電話 72-9970



社会福祉協議会だより

令和8年7月20日 宮川地区社会福祉協議会 事務局電話 82-1328

福祉とボランティア活動

宮川地区社会福祉協議会 会長 唐澤 一由

宮川地区社会福祉協議会は、誰もが「尊重」され、誰もが「安心」して暮らせる宮川地区を目指し、みんなで考え、みんなで支えあえる地域づくりを目的とします。

その目的を達成するために、次の事業を行うことを規約に定めています。

○区・自治会での福祉活動を推進するための支援

○地域住民の福祉意識の啓発活動

○ボランティア活動の推進と支援

○その他、本会の目的達成のため必要と認める事項

その目的を支える大きな力が、地域の皆さまによるボランティア活動です。

また福祉活動は、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指す活動です。その実現には、行政や専門機関だけでなく、地域住民一人ひとりの支え合いが欠かせません。

福祉とボランティア活動は、車輪の両輪のように深く結びついており、ボランティア活動は福祉を支える大切な力です。

厚生労働省では、ボランティアについて明確な定義を行うことは難しいとされていますが、次の活動の性格をあげています。

①自主性（主体性） 誰かに強制されるのではなく、自分の意志で始めます。

②社会性（連帯性） 個人の利益のためではなく、社会を良くすることや他者を支えることが目的です。

③無償性（無給性） 経済的な見返り（利益や報酬）を求めません。

④創造性（先駆性） 柔軟にアイデアを出し合って活動を発展させます。

これらに支えられたボランティア活動は、一方通行の犠牲ではありません。お金という報酬の代わりに、参加者は「笑顔」や「生きがい」という、人生を豊かにする最高のギフトを受け取っています。困ったときは自発的に助け合い、共に生きていきます。そんな「お互いさま」の精神が形になったとき、私たちの宮川地区の福祉は、より温かく、誰もが安心して暮らせる確かなものへと進化していくと考えます。

宮川地区社会福祉協議会は、ボランティア活動への参加や活動の支援を通じて、住民同士が支え合う地域づくりを進めています。一人ひとりの思いや行動が、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現につながります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。





気軽に集まることができる場を ～リンリンリング～

「ここに来れば誰かがいて、気軽におしゃべりができる場」を目指し、茅野区伊藤正博さん宅の1階をコミュニティスペースとして開放しています。その名も「リンリンリング」です。

高齢になると、外出する機会や人と話す時間が少なくながちです。この場所は、高齢者が気軽に集まり、自分の好きなことをしながら自由に過ごせる居場所となることを願い、今年の4月から始めました。

茅野区では高齢者クラブが解散後、高齢者の居場所づくりが必要と感じた有志の方たちが「いろはの会」を結成しています。このいろはの会の活動場所としても使われることもあり、区内での回覧の効果もあって、高齢者の憩いの場として広まりつつあります。

このスペースにある棚や床の一部の修理はリンリンリングの仲間が行いました。ここでの出会いが、日常の支え合いに繋がっています。

リンリンリングには、マージャンや囲碁、将棋、オセロなどのテーブルゲームが豊富に準備されていて、子供から高齢者の方まで幅広い世代の方が楽しむことができます。ゲームを通して自然と会話が生まれるので、おしゃべりが得意でない方も楽しい時間を過ごすことができます。また室内だけでなく、ベランダを使っのバーベキューやキッチンを使ってお料理をすることもでき、何も持たずに来ても楽しい時間を過ごすことができます。

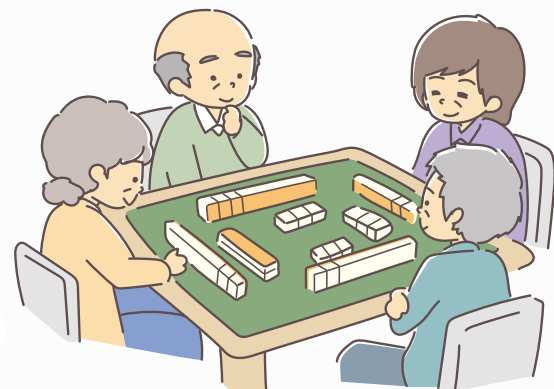
さらに今後は、映画上映会や子ども食堂なども開催し、地域の人たちが世代を超えて交流できる場になっていければ、と考えています。

お友達と声をかけあって来てみるのはもちろん、お一人で気軽に立ち寄っていただける場所です。

また、高齢者だけでなく子どもや若い世代の方たちの利用も歓迎しています。人と話したいとき、少し休憩したいとき、新しい出会いや交流を楽しみたいときなどにご活用ください。茅野区民に限らず、どなたでも自由にご利用いただけます。

ぜひ、お気軽に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

★アクセス



宮川地区社会福祉協議会委員・福祉推進委員研修会を開催しました。



宮川地区社会福祉協議会では、令和8年4月22日（水）に宮川地区コミュニティセンターにて、地区社協委員・福祉推進委員向けの研修会を開催しました。

災害時には、行政や専門機関の支援だけでは限界があるため、地域住民同士の助け合いやつながりが重要となります。そこで今年度も防災をテーマに、市民ネットワーク防災ちの代表である両角直樹さんの講話を聴きました。また、昨年度好評だった「100円ショップで購入できる防災グッズを活用した防災ポーチ作り」も実施しました。作成した防災ポーチは、それぞれの地域へ持ち帰り、地域住民や関係者と共有しながら、防災意識の普及・啓発活動に活用していきます。今回の研修では、地域や家庭で取り組める防災について考えてもらう機会となりました。

【アンケートより】

- ・各区の防災倉庫に何が入っているのか確認したいと思った。
- ・まずは災害は人ごとという考えを改め、地震をはじめとする災害がいつ起きてもおかしくないと思えることが必要だと思った。



▲唐澤会長より、福祉推進委員の役割を説明



▲茅野市の災害と災害への備えについて説明



▲ペットボトルを使った防災グッズを紹介



▲ポーチに100均の防災グッズを詰める体験

